

1996年

4月号

No.277

公民館だより ひょうたん

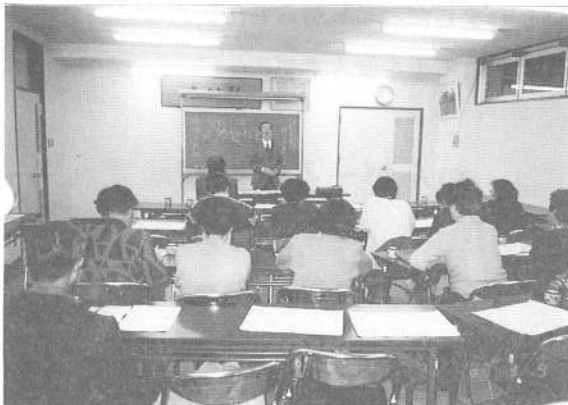
発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部



「最近の楽しい草花」について

2月29日(木)・3月6日(水)の2日間瓢箪文化会館にて地域の方々を対象に「花の講座」が開かれ約40余名の参加がありました。石川花の会副会長の島村嘉一先生を講師に「最近の楽しい草花」についてコンテナ栽培で育て方やナス科ペネチュアの交配改良種の方法。2回目の3月6日は「3・4月の園芸作業メモ」と題して鉢植えの洋ラン・観葉植物・草花などの植替え時期・さし木時期・肥料をあたえる時期などの講義をいただき時間を忘れるくらい熱心な質疑応答のあと粗品としていただいたインパチェンス・クモマソウの栽培方法を習い大盛況のうち講習を終えました。



瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友功

1. 母衣町

金沢城西内惣構堀の水が仏眠寺横からNTT病院の崖下を通して浅野川に注ぐ出口(現緑水園)までの北側一帯を母衣町と言った。

加賀藩初頭、母衣衆と言う歩行士の居邸をこの地に賜った事から母衣町と呼ぶようになった。戦国の世では武将の元に母衣衆が戦闘要員として又御使番として活躍したが、寛永4年(1627年)頃には御使番に属し萬治2年(1659年)には母衣衆の名目は無くなったと言われる。それは平時が続き必要がなくなったためである。大阪軍役覚帳にも加州勢使番黒母衣衆、西尾隼人の名がある。この西尾隼人は現NTT病院の敷地に屋敷があった事は母衣町の母衣衆とは無縁ではないようである。現在この母衣町は、彦三1丁目、尾張町2丁目に分割されている。

母衣町と小橋を結ぶ川湊の小路は慶応3年(1867年)3月3日に開通した。

広報部よりお知らせ

平成8年度の生涯学習の一環として「わが町探訪」を企画しました。まず初めに「町名の由来」を掲載いたします。

掲載にあたっては、石川県郷土史学会員の大友功氏(彦三町)にご協力をお願いし、皆様と一緒に勉強したいと思っています。

また、内容等について町会長・役員の方々にもご協力をご依頼することがありますので、その際はよろしくお願いいたします。

教室の案内

名 前	曜 日	回 数	時間(時)	会 場	講 師
煎茶教室	月	月4回	13～15	和 室	九野 光昭
瀬尾社中	"	"	9～12	ホール	瀬尾 明美
生花教室	"	"	19～21	和 室	柿本 茂子
陶芸教室	火	月1回	9～12	実習室	岡田 和子
書道教室	水	月4回	19～21	会議室	中山 秋水
ECC英会話	水・金	月2回	14～17	集会室	担 当 講 師
習字教室	木	月4回	16～19	会議室	今井 栄吉
金城民謡	"	"	19～21	会議室	田中 玉城
絵画教室	土	"	15～19	"	岩倉 令峰
中村民謡	木	月2回	19～21	図書室	高柳 信子
ほっぺん クラブ	金	"	9～12	ホール	専 属 講 師
マージャン火・金週2回			13～17	和 室	老 人 会

平成8年度

ひさご歩こう会予定表

回	月/日	時間	行 先
367	4/7	7:30	兼六園 花見
368	5/5	7:00	卯辰山 花木園
369	6/2	6:00	卯辰山 花菖蒲園
370	7/7	6:00	椿原神社 モミ、樹林
371	8/4	6:00	六斗広見 本覚寺、菅原神社
372	9/	未 定	
373	10/6	6:30	野田山 前田利家墓
374	11/3	7:00	堂形前(県庁前)、金沢城石川門開放
375	12/1	7:00	中央公園碑巡り
376	1/5	9:00	安江八幡宮初詣 初顔合わせ
377	2/2	7:30	西善寺 イチョウ、森山
378	3/2	7:30	兼六園 梅林

『夜回り』表彰される

3月17日金沢市消防本部より永年に亘り「火の用心」で夜回り・防火活動に尽力をつくされ功績をみとめられた防火優良町会である巴町町会・古餌指町会・岩根東町会が市消防表彰を受けられました。これからも伝統ある活動を行って行かれる事を望みます。

かんがーる教室閉級式

3月13日(水)ひょうたんかんがーる教室生20組の母子は修了式を迎えました。

去年の4月にはお母さんベッタリだった子どもたちも名前を呼ばれると元気にお返事し、ひとりで修了書をもらいに出るまでに成長し胸があつくなりました。お別れは淋しいけれど子供達のますますの成長を願った修了式でした。春には幼稚園と進む道はそれぞれだけど、また遊びに来てね!!

なお、新年度は5月15日より開講

申し込み〆切は4月10日

くわしくは児童館まで TEL21-1476

4月の行事日程

◎4月17日(水)一年生おめでとう

3:30～児童館

◎4月29日(日)グリーンウォーク(市主催)

問い合わせ 公民館へ

◎5月12日(日)「田植え」湯涌地区で

詳細は回覧で

1996年

5月号

No.278



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

2. 彦三町

江戸時代この地は、すべて藩士の居邸であった。特に加賀藩の重臣不破彦三と、その一族や家臣も居住していたため彦三町と呼ぶようになった。

延宝金沢図（1673年～1680年）及び元禄6年（1693年）の士帳、享保9年（1724年）の士帳などを見ると不破彦三の屋敷は、同一場所に連綿として家勢を落とさず3百年間居住している。廃藩置縣の際も移住することなく隆盛し続けたのは、藩の中での大身ではこの家だけではないかと「金沢古蹟志」で伝えている。

宝永7年（1710年）までは彦三殿〇番町と呼んだ時代もあり、当時は1番丁より7番丁まであったと言う。彦三1番丁（現彦三1丁目11・12番、瓢箪町25番・13番の一部^{おさえ}廻り）に伴八矢屋敷（5千石）があり小橋の鎮であった。彦三2番丁（現彦三1丁目7番8～33^{おさえ}廻り）に不破彦三屋敷（4千5百石）、彦三本家の向角側（現1丁目14番16～22^{おさえ}廻り）に不破傳兵衛、彦三5番丁（現1丁目14番1～7、31～33^{おさえ}廻り）に不破權丞などの屋敷があった。

「金沢の菓子・名工賞」

金沢市が本年度初めて創設した「金沢の菓子料理名工賞」に塩屋中町会「中崎幹夫氏」が選ばれました。64年にわたって和菓子製造職人としてたゆむことなく精励され、技術指導に力を注ぎ伝統文化向上に努められた功績が認められ栄えある賞に輝きました。おめでとうございます。今後共益々のご活躍を期待しております。

栄えのともしび賞

私達は昭和58年度より畳の表替のボランティアを行なって来ました。20年以上も畳の表替をしたこともなく敷物の下はダニの巣になっております。大掃除が無くなったために畳の裏まで掃除が出来なくなりました。ひとり暮らし老人で生活保護世帯の方の生活環境をかせ美しい畳の中で老後を暮していただく目的で年間15世帯、1世帯6枚無料でボランティアを奉仕させていただきました。

瓢箪地区社会福祉協議会の推薦により石川県畳商工組合金沢支部ボランティア友の会代表民生委員涌波秀博、組合員一同に福祉活動表彰市ともしび賞とブロンズ像が山出市長より贈呈されました。

これ偏に校下の皆様のお蔭と感謝いたしております。

柿本氏「漢検一級」合格

彦三町・針きゅうマッサージ師柿本伊三雄さんが、日本漢字能力検定の一級に合格され、3月19日東京にて全国ただ一人文部大臣奨励賞を受けられました。仕事をされている時は勿論、外出時も参考書を手放さず日々コツコツと努力され一発で合格。又、短歌・書道・囲碁など色々な事にチャレンジ精神を持ち続けておられます。心よりお祝い申し上げます。

5月の行事日程

5月12日(日) 田植え 湯涌へ

9時現地集合

5月19日(日) ハイキング

卯辰山 扇ヶ丘へ

新一年生の喜びの一声!!

おべんきょ、つておもしろいよ。
はあ、はい。おはれ
たう、うんどう
じょうであそぶる
がら、たのしいよ。
とたのしくなっ
てほしいな。

よし

かあいしい
きゅうよく

ふんせ、はおもしろいよ。
たのしい、なあ。おもしろ
くはないぎゆうしよくは
フルーツもあるしおいし
いね、チェウリツフ
がこころはたいすきです。
さくら、うれしかったから

かこころはたのしいです。
きょうしよくのともしも
あそぶときもたのしいです。
いちばんたのしいのは
みんなであそぶことです。
きくする

かこうに、かえって
きたとき、ねんくみ
におれいびしたとき
はくしてしてくれたよ。
(なかよしえんぐのあと)

おもしろいよ。
はあ、はい。
たう、うんどう
じょうであそぶる
がら、たのしいよ。
とたのしくなっ
てほしいな。

「マスコット」プレゼント

金沢市交通安全協会瓢箪支部よりピカピカ明成小学一年生の生徒さん達に素敵な手作りの「お守り」が贈られました。これから何かと外出する機会が多いでしょうが交通安全のルールを守り事故に遭わないよう「幸わせかい（貝）」というかわいいマスコットです。持ち物に付けて頂いて日々交通事故には絶対遭わないようにみなさん気を付けて下さいね。

☆☆☆☆☆☆
入学おめでとう！

4月17日（水）児童館では元気いっぱいの一年生30余人を迎え、入学おめでとうのつどいが開かれました。

3年生のお兄さん達からユーモアたっぷりに、児童館のおやくそくを聞いたあと遊具の名前を教えてもらい、総勢45人が学年をこえ、仲よく風船バレーやジャンケンゲームをたのしみました。（これを機に、気軽に来館して下さいね!!）

1996年
6月号
No.279



発行 瓢箪町公民館
金沢市彦三町2丁目10-5
TEL 21-1476 番
FAX 23-0715 番
編集 公民館広報部

「あなたがつくる公民館」

私たちの公民館は、多くのボランティアの方々によって支えられています。地域の人々は、それぞれちがった夢を持っています。公民館は集う人々の夢の実現、豊かな人生へのお手伝いを、役職員の方々のご協力と知恵をお借りし、みなさまの生涯にわたる学習活動のお手伝いをしています。

今年度は、企画運営部門を独立・強化させ、成人式・文化祭・社会体育大会のマンネリ化を解消し、若い世代が公民館活動に参加出来るよう呼び掛け、幅広い層が気軽に公民館行事に参加する気風を地域住民の理解を求め進めて行きたいと考えています。

さらに歴史散歩等の行事を通じ、瓢箪地区の再発見といった文化活動を推進することとし、住民の自主的な盛り上がりで住民が中心である行事として行きます。

また、各種団体との連携については、自主防災組織の確立に取り組むほか地域外の人々との交流を重視し、町会連合会と協調しながら次の事業の運営を行いますので、皆様方のご協力とご指導をお願いいたします。

館長 小原 英一

公民館役員

長 小原 英一	副館長 宮坂 清
企画室 橘 良之介	企画室 若林 繁
総務部長 松井 良憲	広報部長 津田 正治
教養部長 岡村 忠雄	体育部長 西川 寛
視聴覚部長 増村 秀雄	青年部長 諸江 敏博
少年部長 高木 茂雄	女性学級長 示野登喜子
体育指導員 永井外志明	体育指導員 北川美佐代
交流事業 川端 豊治	交流事業 川瀬 節
事務局主事 山下 辰枝	事務局員 野里 知昭

◎ 行事予定

(市・中央ブロック主催行事及び各種会議・研修会等は省略)

5月	むらとまちの交流「田植え」 ファミリーハイキング「卯辰山 扇が丘」
6月	ソフトボール交流会 歴史散歩
7月	ほたる狩り グランドゴルフ大会(上期)
9月	むらとまちの交流「稲刈り」 日帰りバス旅行
10月	歴史散歩 グランドゴルフ大会(下期) ボーリング大会
11月	文化祭
1月	成人式
2月	麻雀大会
3月	歴史散歩

町会連合会長	今	井	義	明	小学校育友会長	高	屋	利	行
文化会館長	今	井	義	明	消防分団長	宮	岸	敬	治
公民館長	小	原	英	一	民生委員(協)総務	涌	波	秀	博
児童館長	大	村	昭	男	防犯交通委員会長	岡	崎	竹	雄
老人憩いの家室長	田	中		良	婦人会長	吉	田	尚	子
社会福祉協議会長	池	田	正	一	少連育成委員長	吉	村	正	武
小学校長	野	村	祐	治	街頭交通推進隊長	三	上		道

[illegible]

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

3. 横安江町

鎌倉期に富樫家経の甥安江二郎盛高の名があり、安江の地名はすでに存在していたと言われる。

その上安江村の土産神、安江八幡宮（現此花町）は現スカイプラザの裏通りにあった。その聚落は現ダイエーの裏通り（旧袋町）までおよんでいた。安江郷の区域は広大なもので、江戸時代の古文書で安江八幡宮の安江郷下上宮縁起（宝暦3年＝1753年）に次のように記されている。

「東は尾張町山ヶ小路（現近江町）より南町辻まで、西は大荷川を限り宮腰口（六枚町回り）まで、南は石衛門橋（右衛門橋の誤りで北国新聞社裏）より新町（^{あなまち}穴町の誤りで二水高校跡地回り）まで、北は母衣町（^{ほろまち}より浅野川岸限り下は堀川七ツ屋まで安江郷という」更に「安江の地、昔は泥にてあり川を堀り切り水を落とし今ここを堀川と云う良田となれり、土民得て居を安しめる故に安江と称す」とある。

文禄、慶長の頃（1592年～1614年）金沢城の規模拡大のため、安江八幡宮は一時現北安江へ移り後に現在地此花町11番へ移った。安江の村家も他へ移され、藩の家臣の屋敷町と町家の家並へと変化していった。

横安江町は安江町の裏町に当たる。文化8年（1811年）の「金沢町名帳」には、現横安江町南口より東別院手前までと現安江町12・13番（旧裏安江町）範囲が横安江町と呼ばれている。

東別院前より北口までを東末寺町または東御坊町と呼んでいた。

女性学級

今年度より新設された、女性学級「すずらん学級」の開講式が、5月13日、公民館において行われました。町連会長の今井義明氏のご挨拶。「楽しく学び、うるおいのある生活を」のテーマにそった、講座内容を確認しあいました。

金沢をもっと知るための市内散策、ゴミ問題、手づくり実習など、もりだくさんの内容となりました。一般女性の方の多数の参加も、お待ちしております。



「タタミボランティア会員」によって

去る4月「タタミボランティア会員」の方々により文化会館1F和室のタタミを表替えしていただきました。又会議・教室・マージャンなど大いに利用して下さい。

会員の方々ありがとうございました。

児童館長あいさつ 大村 昭男

このたび若林繁前館長さんの後任として、児童館長を引継がせていただきました。未熟ではございますが、子供さん達の笑顔を見るのが好きですし、自分も同じ年頃に戻った気持ちでいっしょに遊びたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

4月以来、低学年の兼六園梅園横への遠足会、そして「児童福祉週間」が戦後50年目となる記念として「児童館あそびフェスティバル」が明成小学校校庭で此花少連の皆様のご協力により賑やかに行われました。

通常は平日の午後文化会館3階ホールで、厚生員の広瀬さんと橋田さんの熱心な指導によって子供さん達に色々な遊具で楽しく遊んでもらっていますので、ご家族の方も気軽に来ていただければさいわいです。

8月には末町上流の市営キャンプ場でキャンプ活動を予定しています。一昨年に溪流探険をして好評だった場所ですのでお父さんやお母さんの参加も是非お待ちしております。

児童フェスティバル

瓢箪児童館では、児童福祉法制定50周年を記念して、福祉週間中の5月11日第2土曜日に、「あそびフェスティバル」と銘うって、おり紙教室（公民館和室）とミニ運動会（明成小グラウンド）を開催しました。おり紙教室講師の中島光春氏（彦三五上）他、20余名の方の協力のもと240人もの参加者を数え、大盛況のうちに終了しました。



交流「田植え」湯涌地区で

5月12日（日）少し肌寒い日でしたが、湯涌地区において「町とむら」の交流事業が開かれ、約66名参加にて「田植え」がおこなわれました。

今年で3年目ということで瓢箪地区の参加者もなれた手付きで苗を植えておられました。湯涌の子供達も多数参加し、田植後の「バーベキュー」で大人ばかりでなく子供達の交流もあり、一段と輪が広がったような和やかな一日でした。

「ファミリーハイキング」行なう

5月19日（日）午前8時30分、公民館前集し、60余名の参加により一路卯辰山へと歩き出しました。おかげさまで晴天に恵まれ足取りも軽やかに各自弁当持参し鼻唄で……。

自動車社会となりめったに歩くことが無いので良い機会という事で今年は多数お父さん方が参加され和やかなウオークでした。

途中「緑地公園」、「菖蒲園」に立ち寄り扇ヶ丘へ。扇ヶ丘では女性役員さんのお手製の「メッタ汁」で中食し、「宝さがし」・「縄飛び」・「グラウンドゴルフ」など和気合々と楽しい食後のひとときを楽しみ、無事帰路につきました。



◎ 6月行事日程

日時 6月16日 歴史散歩（瓢箪内）

◎ 7月行事予定

日時 7月6日 ほたる狩り（湯涌町）

日時 7月14日 グラウンドゴルフ大会

1996年

7月号

No.280



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

4. 巴町

藩の重臣、伴八矢（5千石）は慶長年中（1596年～1614年）下屋敷としてこの地を賜り家士の居住地とした。大阪軍役覚帳にも黒母衣衆伴雅楽介（八矢長重）の名がある。後に父（八矢長之）の家督を継いだ、代々武勇の家柄である。先の彦三町の項にも記したが、小橋の守りを固めるため城塞のような上屋敷を小橋の袂に賜っている。

戦前まで、近隣の村ではこの町を「伴の家中」と呼んでいた。この町の南北の入口に木戸があり、門に「左三ツ巴」の家紋が打ってあった。これが巴町町名の由来である。夜になると木戸番が門を閉じたと言われている。昔は各家の後に広い庭があって果樹が多く見られたが、今はその面影はほとんど見当たらなくなった。

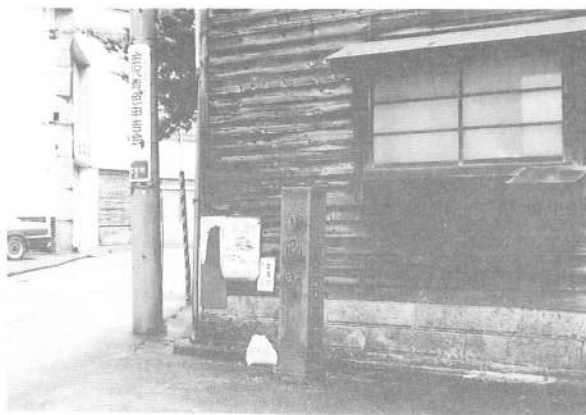
明治31年11月9日陸軍が、金沢第6旅団から金沢第7師団へ編成替えされ、金沢城の師団駐屯地より栗崎演習場への幹線道路としていち早くこの町の道幅を広げ直線道路にしたようである。以前は、道幅1間から2間3尺で南口はL型に折れ曲がり西別院の裏辺りでU型

になり、南口からも北口からも袋小路に見え、西側は鞍月用水、東側は西別院と防備上の工夫を凝らしてあった。その名残りを今でも留めている。

「瓢箪地区自主防災連絡協議会」設立

「私達の町は私達の手で守る。」を合言葉で消防団長の宮岸敬治氏、連合町会長今井義明氏を先頭に熱心な研修会・会議など数回開催後6月17日(月)、「瓢箪地区自主防災連絡協議会」が発足旗上げする事が出来ました。

地区住民120余名出席し、この自主防災組織の機能を充実させていくことを決め、大震災に対する心構えなど金沢東警察署、駅西消防署・菊川連合町会長様のご講演を頂き、盛大な発会式でした。



「此花町公民館との連絡会議」

平成7年度より小学校が統合されたのを機会に此花町公民館と瓢箪町公民館との交流が昨年からは行なわれています。2年目に入り5月23日(木)午後7時より此花町公民館において今年初会合が開かれ、両公民館役職員・子供達との交流の深い瓢箪児童館長を交えて、去年の反省、今年の両公民館行事予定、児童館の行事などについて意見が交換され、本年も両館長を中心に活発な交流事業を継続していこうと一本締めで和やかな第1回交流会を終了いたしました。

「市民グラウンドゴルフ大会」

5月26日(日)金沢市陸上競技場において金沢市グラウンドゴルフ協会の役員の方々のお世話により楽しいゲームが展開されました。

瓢箪公民館から2チームが参加しましたが成績は発表いたしかねますが・・・ゴメンナサイ

参加することに意義ありで、市グラウンドゴルフ協会に加入し実力向上に向けてがんばろうと皆さま一致団結し励みあっていました。

7月行事日程

7月6日(土) ほたる狩り 湯涌方面
詳細は回覧にて連絡済み

7月14日(日) グラウンドゴルフ大会
奥卯辰山公園 詳細は回覧にて

7月21日(日) ブロック バレーボール大会
中央小学校

8月行事日程

8月4日(日) ブロック グラウンドゴルフ大会
西部水質管理センター



史跡散歩に参加して

加賀に初夏の到来を告げ百万石まつりの最終日と父の日が重なった6月16日(日)に、教養部主催の歴史散歩が行われました。

公民館で本日まわるコースの概略を聞いた後、講師の大友功先生の案内で、公民館を出発しました。旧新町の一角に立てられてある西内惣構堀の石碑の前で、由来をきいて、母衣町、主計町、中ノ橋の辺りをまわり、浅野川の川辺りを、途中、いろいろと大友先生の説明をききながら、60数名の生徒達は熱心に時折、メモをとったり、過ぎ去った小さい頃の思い出話に花を咲かせたりしながら、小橋のたもとの公園で一休み。そして岩根町から西別院を経て、横安江町の裏通りを出て、東別院の裏で最後の説明をきいて解散しました。

第1回目の瓢箪地区の歴史散歩に60数名もの熱心な人達が集まり、関心の度合が、まざまざと見せつけられた一日でした。講師の大友先生、本当に有り難うございました。

広報部長 津田正浩



1996年

8月号

No.281

公民館だより ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

5. 象眼町

有名な加賀象嵌の工匠達の邸地として賜った所である。元禄・享保の頃（江戸時代初期から中期）までは、ぞうがん町と呼んだが後にぞうがね町と言うようになった。

象嵌は加賀藩の名産であり、馬具、甲冑、刀の鐔、小柄、鎧などに施され幕府への献上品の第一とし、諸藩主への進物にも使われた。工匠達は二代藩主利長、三代藩主利常の時代過分な程の知行を与えて召し抱えられた。

寛永4年（1627年）の土帳に150石象眼屋今村平兵衛、藩国官職通考には勝木市郎右衛門六世の祖権太夫は知行150石賜わるとあり、寛永元年（1624年）幕府へ象眼鏡2足を献上し將軍より以後所望を給ひ弟子38名に各々50俵宛賜わり象眼御用を勤むとある。

象眼町南口（現安江町17番7～30と18番22～32辺り）の道路両側に 前田将監の下屋敷があった。将監は幕末の元治元年（1864年）より慶応2年（1866年）まで家老役、慶応2年より慶応4年まで若年寄、明治維新後一時参政も勤めた。

象眼町は昭和40年の住宅表示の変更で、安江町17・19番、笠市町4～7番に分割されている。

「市長を囲み市政懇談会」

開かれる

7月12日（金）午後7時30分より瓢箪町公民館において市長・教育長・各部長を含め市当局10名の方々と瓢箪地区・此花地区の皆さん70余名の人達との懇談会が開催されました。

まず始めに4月1日制作された中核都市につ

いて「より身近に、より個性的な都市をめざし地域振興を目標に地元に着目した新たな政策を講じる」と市長の挨拶に続き、平成9年度より新校舎に移る明成小学校についての説明が教育長からありました。また、市各部長から地域に関する市サイドの説明を受け、地区代表で今井会長、小原館長、古河会長の意見陳情があり、その他多数の人達の熱心な質疑応答、時間を30分もオーバーする程の有意義な懇談会でした。



「交通事故を無くしましょう。」

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃皆様方におかれましては益々ご健勝の事と存じます。増え続ける交通死亡事故を無くす為、東署管内において「たまご作戦」を展開しております。

たまごの形を0に見立てて100日間死亡事故が無い場合校下に贈られるということになっています。我が校下では作戦開始以来連続三回6月23日を以て1カ年の死亡事故0を達成し、金沢東署より卵を一人暮らしの老人のお弁当に使って頂きました。

今後共無事故達成へのご協力をお願い申し上げます。

金沢東交安協瓢箪支部

「グラウンドゴルフ大会」交流事業

7月14日(日)両地区の役員・選手約140余名の参加により奥卯辰山健民公園にて開催されました。

今年の交流事業の第二回事業の一環として取り入れ児童から67才まで幅広くプレーに汗をふきふき参加されました。

成績は次の通りです。

- 団体 1位 岩根西
2位 塩屋下A
3位 塩屋中
- 個人 1位 柴田 英樹(彦三・7)
2位 北口 久(岩根西)
3位 滝田 聡(岩根西)
4位 下田 芳昭(此花)
5位 渋谷 久(塩屋下)
6位 音頭 一正(彦三・7)
諸江 泰彦(塩屋下)

「グラウンドゴルフ大会」に参加して

彦三7番丁 柴田 英樹

今回、瓢箪・此花地区交流グラウンドゴルフ大会において栄えある個人優勝をさせて頂き、誠に有り難う御座います。当日は絶好の好天に恵まれ、気持ちよい汗を流しつつ馴染みの方々と気軽に楽しみながら、尚かつ真剣にプレーした成果が幸運の女神の微笑みに結びついたものと思います。グラウンドゴルフで初のホールインワンを記録し、又僅か一打差で優勝するなんて……。

今回の好成績の一番の要因は、一緒に回り六位に入賞された音頭一正さんと抜きつ抜かれつのゲームとなり、緊張感に満ちた状態が続いたと事と、大変暑い芝生の上をビール片手にワイワイ飲みながらの不謹慎さ極まるプレーのバランスがうまくかみ合った結果だと思っています。やはり「仲佳きことは美しき哉」の精神を抱きつつ、幸運が続く事を願いつつ、願わくば連続制覇の夢を追い、次回も好成績を上げられるよう日々精進し、楽しめるグラウンドゴルフを目指していきたいと思っています。



「交流会に参加して」

此花町公民館 越田富滋雄

明成小学校として2年がたち、毎日楽しく明るい子供たちを見るに、昨年より瓢箪・此花両公民館で変わり行く現状を話し合い一部行事を交流会として取組み発足致しました。今年は『ほたる見学』『グラウンドゴルフ大会』希望と期待で参加し、全員が『楽しかった』皆様にお世話になり厚くお礼申し上げます。今後『盆踊り大会』『オセロ・将棋大会』等の交流会を企画中、皆様の参加をお待ち致しております。

「楽しかった蛍狩り」彦三2番丁 伊藤 陽子

「ママ晴れたよ。蛍見に行けるね。」と娘が外を見ながら嬉しそうにはしゃいで言いました。楽しみにしていた蛍狩りが7月6日に行われました。

今年は瓢箪町公民館と此花町公民館と交流を図ろうという事で皆で170余名の方々と一緒に幻想的な蛍火を楽しむ事ができました。

少し肌寒く風もあり、心配したのですが、子供達ののびのびとした姿や歓声を聞いて日頃の忙しさも忘れて、童心に帰ったようで時間の経つのがとても早く感じられました。

校長先生が、4歳の娘の手の平に、蛍を一匹乗せて下さり、「きれいだね。」と、初めて見た蛍の光にいつまでも見詰めて感動しているようでした。「来年も見にこようね。」と言ってきたのですが、自然の雄大さと、蛍が生息できる環境をいつまでも残していかなければと改めて痛感しました。

お世話して下さいました方々、楽しい思い出を本当にありがとうございました。



「納涼盆踊り大会」ご案内

昨年4月に瓢箪町小学校と此花町小学校が統合して、明成小学校が開校しましたね。それに依って、両公民館では、いろいろな交流事業が行われています。

そこで今年の夏は、此花町公民館主催の盆踊りに参加して、より一層の親睦を図り、楽しい一夜をお過ごし下さい。

日時 8月9日(金) 午後7時(雨天の場合は10日)

会場 明成小学校運動場

練習日 8月6日(火) 午後7時 於 同体育館

練習日にも来てね!!

1996年

9月号

No.282



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

6. 笠市町

笠市町は、昔は「堀川笠市」と堀川片原町に別れていた。藩政時代物資の荷揚げや舟着場が近くにあり、活気あふれる地域であった。

この地は笠問屋が多く、市中や近郊の村の女達の編立てた菅笠をとりまとめ諸国へ送り出していたため笠市場とも言われた。その略省が笠市町の町名の起こりである。

江戸時代初期寛永の頃には全国的に加賀笠として賞賛され、江戸時代諸国で用いられた菅笠の大半は加賀産であったと金沢古蹟志に記されている。また、その需要を支えていたのが年貢に苦しむ農民の女達が、米作りの他にあらゆる副業に精を出し、笠作りに涙ぐましい努力があった事を鞍月村史に記している。

「堀川笠市」は、笠市町7、8、9番の各一部辺りと呼んだものと思われ、金沢町名帳では文化8年(1811年)の頃、堀川笠市町の町名は正式町名にはなく、この辺りの総称であったようである。

現笠市町2番29～34、10番の1部の地域を堀川片原町と呼んでいた。但し現笠市町4番20～25までは、伴下屋敷伴源兵衛の土堀が連なっていて町屋は片側だけであった。

一般的に片原町の地名は、その昔町屋が片側だけにあった事を意味している。例えば、鍛冶片原町、片町などと同列と思われる。

明治5年この「堀川笠市」、堀川片原町を併

せて笠市町と呼ぶようになった。

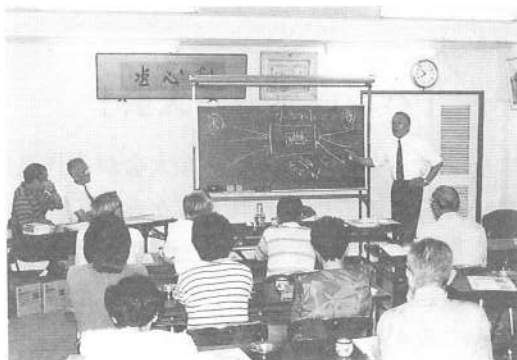
文化年間に「堀川笠市」と堀川片原町界限に菅笠商いに関わっていた人は約33軒に及び堀川片原町のみを見ると、総軒数約37軒の内約23軒が菅笠を商いしていた事が記録されている。

共催「納涼踊り」

此花町公民館主催・瓢箪町公民館共催の納涼踊りが8月9日(金)夜7時より明成小運動場にて開催されました。6日の夜練習が行なわれ、当日は600余名の参加により踊り、太鼓に酔いしました。お世話してくださった此花町公民館の役員の人達ありがとうございました。

「テレクラ等規制条例」について

7月22日夜、文化会館にて青少年健全育成会議が開かれ「テレクラ」等について約35名の人が勉強されました。何かと好奇心のある問題だけに一般に知られていない条例の説明、又被害を少しでもすくなくするための防止対策などについて熱心な討議がなされました



「ごみ対策問題」について

山崎裕美子

第3回女性学級は公民館委員の方々と合同で7月2日(火)に、ごみ対策問題についての討論会を行ないました。金沢市の生活環境課の職員の方2名を講師として迎え、約50名の参加者と1時間にわたり話し合いました。講師の方からごみ出しのルール(決められた日時に決められた場所へ分別して出す)をしっかりと守る事と、収集できないものは絶対にステーションに出さないよう協力を呼びかけられました。そして資源になるものとならないものをていねいに説明して下さいました。

金沢市の埋立場はあと数年かでいっぱいになるそうで、少しでもゴミのリサイクルと減量をしなければならない事、なぜなら新しく埋立場を作る事は付近の住民の反対や、莫大な経費がかかるので困難な事などの説明がありました。私はごみの問題が、市民1人1人が積極的に関心を持ち、対策に協力する義務があると思いました。

ブロック

「グラウンドゴルフ大会」

中央ブロック・グラウンドゴルフ大会は8月4日西部管理センター会場にて14チーム参加で競い合いました。薄い雲におおわれほど良い風にふかれるコンディションの中で開催され、瓢箪町公民館チームは第4位・第6位と好成績を挙げました。

ブロック

「バレーボール大会」

中央ブロック・バレーボール大会が7月21日中央小体育館にて行なわれ、年々参加チームの少なくなる大会の中、瓢箪町公民館は混合で参加され、好成績で怪我もなく終えました。

選手の皆さんごくろうさまでした。

健脚ひさご歩こう会の表彰

毎月第1日曜日の早朝に行なわれている「ひさご歩こう会」の会員のうち次の5名の方が平成7年度の表彰を谷本県知事から受けられました。

100回賞	久田 兼三氏(岩根町下1)
〃	上野 久子氏(あげば会)
〃	早川 ハナ氏(堀川間ノ町)
健歩賞(50回)	村井 愛子氏(あげば会)
銀賞(20回)	馬場 寛氏(古餌指町)

8月3日(土)～4日(日)

甥杉少年の森キャンプ場にて

<児童館>

恒例のキャンプを総勢58名で行ってきました。今年は自分たちの力でキャンプをするをモットーにテント張りから飯盒炊飯片付けまで子供に任せ、おたのしみの肝だめしやキャンプファイヤーは中止にしました。

それでも大人がやきもきしながら見守る中、やりとげた子供たちは満足気で頼もしくみえました。また、唯一のおたのしみ溪流上りは、浅の川の原流を求めあぶやオロロ、足元の悪い岩場と戦い(?)ながら予定時間を大巾にこえる探険となり、たっぷりと自然に親しむことができました。夜には留学生のモリ、ブレンド君とアメリカの話やこわい話に花を咲かせ、寝るのを忘れた子供たちでした。

9月の行事日程

- ★お祭り獅子舞い 9月15日(祭)
午前8時 公民館前出発
- ★湯涌地区稲蒬り 9月22日(日)
午前8時30分 公民館前出発
- ★敬老会 9月24日(火)
「ルネスカナザワ」にて
- ★日帰りバス旅行 9月29日(日) 若狭方面
午前8時 公民館前出発

1996年

10月号

No.283

公民館だより ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

7. 古餌指町

元禄9年(1696年)の地子町^{きもいりさいきよふ}肝煎裁許附に古餌指とあり、同3年(1690年)の火災記にも古餌指と記載されている。

藩政初期に餌指として召抱えられた人の居邸としてこの地を賜った。後に浅野町の地へ移転を命ぜられたと言われるが、その移転先は不明である。以前に餌指が居住していた事から古餌指町と呼ぶようになり地子地となった。

餌指とは、藩主の鷹狩に使用する飼餌^{しえ}(エサ)となる小鳥を捕獲する人々の事を言ったのである。当時鷹を飼育する事では、早くから高麗^{こうらい}や百済^{くだら}は鷹飼の術に長けていたと言われる。また鳥の捕獲に使う鳥網も元は高麗餌指が伝えたものとも言われている。その最新技術をもった高麗餌指も何人かが召抱えられていた。

二代藩主利長、三代藩主利常ともに鷹狩を好んだと言われ、慶長10年「利長郷富山養老付士帳御鷹師」の末に、餌指の記録が記されているが、高位で23石程、中位で10俵~13俵、下位で銀5枚となっている。待遇は足軽と同列であった。

文化8年(1811年)金沢町名帳の古餌指町の記録には、日稼ぎ21軒、武家奉公人藩小者8軒、商人2軒、職人7軒、その他4軒、計42軒を数えた。

この地は、現在の笠市町15、16番の一部の辺りである。

初秋の能登路へ

8月25日秋とはいえまだ汗ばむ朝9時に公民館を出発、能登路方面へと向かう。何かとお世話して下さる公民館委員の交流会だ。



初参加の人もいる事で大変うれしい。「魚のいない水族館」を訪れ最新のコンピュータグラフィティで描かれた魚の映像、手を近づけると怒るカニ、ハリセンボなど、ウォールビジョンで「サンゴの生態」の画面に見入ってあっという間の30分が過ぎました。

前田家初代から五代に亘って造営された妙成寺、利常公の生母寿福院の菩提所、大六堂の釈迦牟尼仏に拝礼し、黄金色ら色づいた田を見ながら公民館へと帰館いたし、和やかな意義のある一日研修でした。



「箔押し教室」

9月4日瓢箪町公民館において女性学級「箔押し教室」が開かれました。金沢箔青年会副会長、諸江泰彦氏他3名の講師の指導に基づいて銘々皿を各々のデザインに箔を押す作業であった。2/10,000mmの厚さなので、試行錯誤しながら出来上がっていく作品を見、久し振りに子供時代に戻った一生懸命な姿は美しい光景であった。毎年一皿ずつ増えて「家族の数だけ揃えたいね」と言いながら、午後9時に終えました。

「女性ふれあいトーク」

山下 千恵子

9月9日、重陽の節句の夜、松ヶ枝公民館において「平成8年度金沢市女性ふれあいトーク」が行われました。

はじめに、山出保市長より「世界都市構想や、中核市、新交通システム」などについて説明のあったあと、中央地区（此花、瓢箪、長町、長土堀、松ヶ枝、芳斉、味噌蔵、材木）8公民館代表の女性約60人と、街づくりについて話していました。

わが瓢箪町公民館よりは、6人の女性が参加して、完成間近の明成小学校の早期開校希望と、小將町中学生の安全な通学路確保について、切にお願いしました。

他の代表からは、「ポイ捨て禁止条例を作っては」「旧松ヶ枝町小学校体育館をこわさないでほしい」、「福祉会館の施設の自由使用」などの要望があり、あっという間の1時間半でした。

定着した遊びのチャンピオン大会

9月14日第2土曜日に母親クラブや学生ボランティアの方々にお世話して頂くなか、49名の子供たちが参加しました。

種目ははしでビー玉をつまみ、おわんからおわんへ移すビー玉つまみ、おはじきをコートに沿ってはじき移すおはじきはじき、じゃんけんをして勝ったらカードをもらう1分じゃんけん、ドッジボールでドリブル回数を競う1分ドリブル。それぞれ1分間の挑戦です。

1度の挑戦ではあきたらず、2度3度チャレンジする子もいました。そのかいあって県の目標基準をクリアーした子は4種目、のべ61人にもものぼり、中でも1分じゃんけんの山上規君（五宝中1）は見事県一位の座につくことができました。おめでとうございます。来年もたくさんの方の挑戦を待っています。

10月行事日程

☆歴史散歩 10月6日（日）東山界限

詳細は回覧で

グラウンドゴルフ大会 10月13日 奥卯辰山

団体5名1チーム 個人参加OK

詳細は回覧で

ウォークディ 10月20日 瓢箪地区内で

詳細は回覧で

ボーリング大会 10月27日 ジャンボボール

4名1チーム 保護者同伴（小学生に限り）

詳細は回覧で

11月行事予定

文化祭 11月3日

作品展示、バザーなど

校下の皆様、作品展示に協力してね、

1996年

11月号

No284



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

8. 堀川間ノ町

この辺りは能登や近郷の村々より送られてきた木材など、物資の揚場として活発な商業隣接地であった。金沢古蹟志ではこの地域全体を堀川臺とも言い東堀川、西堀川、中堀川、堀川笠市、堀川片原町、堀川川除町、堀川亀淵町、堀川角場、堀川淵上町、堀川七ツ屋町などを一括した名称であると記されている。

文化8年(1811)金沢町名帳では堀川間ノ町の町名はなく、この辺りを堀川川除町と呼んでいた。堀川川除町の由来は川の堤防を堅くしたり、川底を浚渫するため必要な工事場の空地进行、川除地と言う事からこの町名が生まれた。犀川にも犀川上、中、下川除町があるが、川縁の土堤の上に家を建てた事から川除町と呼ぶようになった事と少し意味が異なるようである。当時堀川間ノ町と言う正式町名はなく、堀川川除町の一部の小名として呼ばれていたようである。

堀川川除町の上町は堀川亀淵町(揚場、舟着場がある)、下町は堀川淵上町、南側には堀川片原町、これらの町の間に町屋ができた事から堀川間ノ町と呼ぶようになったと思われる。

文化8年(1811)堀川川除町は堀川間ノ町を含め地子地146軒あったが、文政6年(1823)堀川川除町は堀川淵上町と改称し、川除町の内から堀川間ノ町を成立させた。

昭和40年住宅表示変更により笠市町の13、14、15、16の一部と堀川11、12、15の一部へ編入した。

伝統芸能 獅子舞 練る

9月15日秋晴れに恵まれ、勇壮な獅子舞が地区一円を練り歩きました。

笛の音に合わせて子供達が元気に舞を披露してくれ、ひたいの汗がとてもまぶしく感じられました。

児童館で夜遅くまで練習している様子を見ているだけに、当日は立派に役目を果たしてくれたと思います。

伝統の獅子舞、楽しいひとときをありがとうございました。

お世話下さった皆様御苦勞様でした。



元気な笑顔の長寿の集い

9月24日(火)秋晴れの日、今年は該当者486名のうち、60余名のお年寄の方々が健康そのもので「ルネスかなざわ」で大いに英気を養いました。

金沢でも評判の『御供田一座』の演芸を見たあとカラオケに自慢の喉を披露する楽しい笑顔の集いでした。席上金沢東交通安全協会瓢箪支部の島田さんの手づくりの「しあわせの貝」と云うマスコットをいただいて、又来年を楽しみにと拍手のうちに終わりました。

小浜の古寺をめぐる

日帰りバス旅行は9月29日晴天に恵まれて、車窓から見えるコスモスを観賞しながら小浜方面へと向けて出発した。

一乗谷朝倉遺跡を見学、谷が最も狭ばまる入口に土塁を造って戦に備え、自然地形を巧みに利用した山城や多くの寺院・町民家の跡も残されていた。

「駆け込み寺」で有名な万徳寺には国重文の木造阿弥陀如来座像・鎌倉時代の絹本著色弥勒菩薩像などが立ち並びおもわず拝礼し、昔を偲ぶ単層入母屋造り、檜皮葺、国宝の三重塔が建つ明通寺の前で全員記念撮影をし、思い出のページを作りました。



第2回 歴史散歩

10月6日公民館前を出発、山の上町にある「心蓮社」・森山町「西善寺」を散策。

当初瓢箪町に建てられたが利常公によって現在地へ移された。現在も瓢箪町にあれば……。

文化12年の大火によって殆んど消失してしまったが、国重文「阿弥陀三尊来迎図」などいくつかの仏像が守られている。又、庭園は築山式庭園で遠州流である。

西善寺には市指定樹木「イチョウの木」があり、多忙にも拘わらず両寺の住職さんに説明を受けましたが、もう一度ゆっくりと見学させて頂きたいという声が多く貴重な二時間でした。

下期グラウンドゴルフ大会

10月6日奥卯辰山健民公園にて開催されました。15チーム 80余名の参加により競われ、大会後食べた弁当は一段とおいしかったです。

成績は次の通りです。

団体1位 岩根西

芝木・芝木・北口・滝田・古田

団体2位 堀川間の町A

北風・沖・馬医・寺林・近藤

団体3位 彦三・7A

安江・吉村・柴田・吉村・中山

個人男子

1位 柴田(彦三・7)

2位 芝木(岩根西)

3位 滝田(岩根西)

4位 北口(岩根西)

5位 清水(堀川)

個人女子

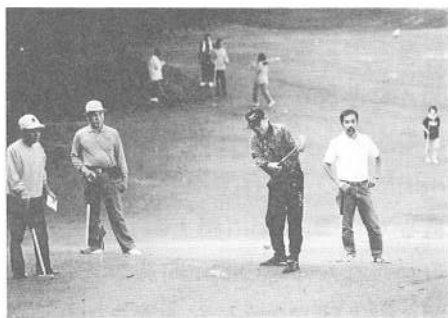
1位 松島(民協)

2位 芝木(岩根西)

3位 絹川(彦三・7)

4位 中山(彦三・7)

5位 馬医(堀川)



二氏表彰受ける

西川善作氏(彦三・3) 多年に亘り交通・防犯奉仕の活動が評価され、総務庁長官表彰を受けられました。

清水興安氏(岩根東) 美化・緑化功労賞おめでとうございました。

1996年

12月号

No285

公民館だより ひょうたん

発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

住民の力作 発表

11月2・3日の2日間瓢箪町公民館にて「いいね瓢箪、瓢箪町公民館文化祭」が開催されました。初日は作品展示コーナーで陶芸、絵画、俳句、女性学級の金箔銘々皿など、約300点余りが展示され、3日は民謡踊り、模擬店、青空市場、子供ゲームなどでにぎわいました。



練習の成果発表



早く食べたいわあ～



子供ゲームコーナー
なにがほしい～



おいしいですね～



大根、葱、りんご いかが

地域に発展「社会教育功労賞」受ける

10月28日永年にわたって社会教育の振興に努力し、地域社会の発展に貢献された小原公民館長が受彰されました。おめでとうございます。今後ともご活躍をご期待致します。

12月28日～1月5日迄休館させていただきます。

瓢箪地区歴史探訪と町名由来

大友 功

9. 五宝町ごほうまち（「ごぼまち」とも言う）

永禄10年（1567）尾山御坊をめぐって寺内町が形成された時、後町、南町、西町、金屋町、御坊町、近江町、安江町などが見られる。（「石川県の歴史」若林喜三郎著）

金沢古蹟志に、慶長7年（1602）、金沢城火災の時、前田美作守の屋敷近く（現大手堀前）に西方寺がありと、また前田式部の屋敷辺り（現NHK前）にかけて塩屋町、御坊町などがあると伝えている。

寛永8年（1631）の法船寺町から出火し、城下の町家1,000軒と城内も焼けつくした大火があり、たび重なる火災のため城内の諸将、特権町人を城外へ移し、城下町の整備が行われた時と併せて、寛永11年（1634）、西方寺が移転して御坊町の町名も現在地に移ったものと思われる。

御坊町は元禄9年（1696）、地子町肝煎裁許きんせんさいしよ附に西御坊町と呼ばれている。それ以前は西末寺町と呼ばれた時もあった。

いずれにしても、この町名は金沢の町では最も古い町名の一つである。

明治4年（1871）戸籍編成の時、西御坊町と熊坂橋の1軒が合併し戸数90をもって五宝町となった。

五宝町ごほうまちについては、聖徳太子の17ヶ条の憲法に「篤く三寶を敬へ。三寶とは佛、法、僧なり」とあって、御坊を五宝に当てたと言う説もあるが、改名の理由は定かではない。

五宝町の範囲は現在の笠市町1、3番の全域、2、5番の各一部と11番、瓢箪町1、4、5、6、8、21番の各一部、安江町17番の一部の辺りである。但し安江町17番14～29、瓢箪町5番52～55辺りと明成小学校庭の一部、笠市町2番1～6、63～65辺りは武家屋敷であり、瓢箪町1、4、21番は西外惣構堀と土塁を崩した土地である。

「クリスマスリースにそれぞれの思いを寄せて」

五宝中2 藤井 初江

とても素敵な作品が出来上がったことは、大変うれしく思いました。

初めての講師という事で、説明不足が多々あったと思いますが、皆様の出来上がったリースを

見ると、一人一人が工夫をしていて、とても感激しました。

2時間という短い時間ではありましたが、このようなご縁を頂いて本当にありがとうございました。また機会がありましたら、今度は是非自分で染色をして作ってみて下さい。

最後になりましたが、準備にあたってご協力頂いた方々に深く感謝致します。

ありがとうございました。

ボウリング大会寄稿

彦三四番丁会

ボウリング大会に向け、昨年の腑甲斐ない成績を反省し、1チームでも入賞できるよう人選を配してメンバーを編成しました。

過去にはアベレージ180以上の実績者を募ったものの如何せん、年1ボウラーでは優勝は疎か入賞も期待薄ではあるが、僅かな望みを託しゲームに挑んだ。

その結果、一人はストライクの連続であり他の連中も続けとばかりに絶好調のゲーム運びとなり、1ゲーム終了時点では目標トータル600点をクリア。しかしながら2ゲーム目は、気負いと体力不足により後退の一途、それでも前半の貯金が功をなし何とか優勝することができた。

これは彦三四番丁の皆さん一人一人が日頃からさまざまな行事等に参加し、親交を深め、築いてきたチームワークの結果、勝ち得た優勝であると思います。

一つの目標に向かって一丸となって邁進することが少なくなってきたこの頃、今大会を通じて得た教訓は図り知れないものがありました。

今後も、人と人との繋がりを大切にし、地域の輪をより一層広げていけたらと思います。

自主防災

消火器訓練

消火班

日曜日の晴れた11月10日、午後2回に分け「消火器の取扱い方、消火の方法」など実技が行われました。瓢箪児童公園に140余名の人達が集まり、熱心な訓練が参加者によって繰りかえし行われました。

今後色々と訓練する事があります。災害に対する心構え、避難など認識を高めるためにも住民の一人でも多くの参加をお願いいたします。

1997年

1月号

No.286



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

「地域に密着した公民館活動」

公民館長 小原 英一

謹んで、新年のお祝詞を申し上げます。

皆様には、ご家族お揃いで新春を迎えられ心よ
お喜び申し上げます。

昨年は、公民館事業についてご理解をいただき、また心温まるご協力を賜り、誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。

今年は、皆様の熱意を反映し素晴らしい小学校が竣工するのを機会に公民館事業も住民が考え、住民が主役である事業活動でなければならないと考えております。そのためには公民館委員は地域の方々と十分な対話を持ち小さなことであっても、全体に繁栄する行事としなければなりません。

地域には、多くの有形無形の財産があります。
財産を有効に活用することを考えて行きます。

生きるためには、地域がなければなりません。より地域を知るためにも今年は地域に密着した生涯学習の場を多く設定し公民館へ顔をだせば何かが得られる所にしたいと思っております。

皆様には、今後とも公民館事業にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「校下の皆様へ」

町会連合会長 今井 義明

謹んで年の始めの御祝詞を申し上げます。

1997年の新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は瓢箪地区町会連合会の運営事業等に格別のご協力、ご理解を賜り、又地区防災組織結成に多くの地区住民の方々のご賛同を得、厚く御礼申し上げます。21世紀に向けて新時代の教育の殿堂として明成小学校の新校舎も今春には新開校の運びとなりました。此花、瓢箪両地区に於いては未来へ向けて前進し、はばたく新たな歴史の第1歩となる輝かしいスタートの年であります。

近年地域社会の都市化が進む中で人と人とのふれ合いが失われがちであり、人間性豊かな地域近隣意識の高揚の必要性が問われています。1995年5月に地方分権推進法が制定され、行政を取巻く環境は時代の流れと共に大きく変化し、行政と地域住民とのつながりがより身近になり、より一層の地域住民の感覚と意向を、充分に反映した行政に期待すると同時に、町連結成40年を新たな瓢箪地区町会連合会活動の出発点と位置づけ地区住民各位のより一層のご指導、ご理解をお願い申し上げ新年のごあいさつに替えさせていただきます。

「福祉のまちづくりをめざして」

社会福祉協議会長 池田 正一

新年明けましてお目出とうございます。
平成9年の新春を皆様方ご家族お揃いにて迎えられましたことをお慶び申し上げます。

昨年は社会福祉事業に対しご理解とご協力を賜りました事に対し心よりお礼申し上げます。

さて社会福祉協議会は戦後間もない昭和26年に民間の社会福祉活動の強化を図るため、都道府県レベルで誕生しました。その後市区町村へ組織を拡大し、福祉活動への住民参加をすすめながら現在まで一貫して地域福祉活動推進の中心的役割を果たしてきました。運営の原則は地域の住民・社会福祉の関係者など参加・協力を得て活動するのを大きな特長として民間組織としての自主性と広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という二つの側面をあわせ持った組織です。

地域が抱えているさまざまな福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え話し合い協力して解決を図ることを目的としています。

終わりにこうした状況の中でお互いがよりよき年であることを念じ新年のごあいさつと致します。

「児童育成に携って」

児童館長 大村 昭男

新年おめでとうございます。地域の皆様には日頃より瓢箪児童館の運営にご協力をいただきまことに厚く御礼申し上げます。

当館では主として小学校の児童を対象として、平日午後からの遊び場を提供し、土曜や日曜の行事も育友会や公民館と連絡をとりながら各種開催しています。特に近年では、若い母親の子育て支援の一環として2～3才の幼児を持つお母さんを対象に「カンガルー教室」が開かれています。この教室は年間スケジュールで20組の母子を地域にとらわれず募集し、平日の午前日に日を決めてお遊び教室を行って幼児も母親も各々に交流を深める内容で続けられています。冬の季節には近くの方々もご自由に館へ遊びに来てください。

なお、従来児童館では電話が公民館と共有で呼び出して貰いましたが、昨年末に専用線を追加し、連絡し易く致しました。

児童館直通電話 21-1518番

どうぞご利用ください。

「充実した毎日を」

老人憩いの家室長 田中 良

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
昨年は老人憩いの家の事業運営に格別のお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。

老人は心の健康が崩れると、病気が出てくるとも聞きますが、老後は物事にくよくよせず、家族と仲良く楽しく暮し、病気を寄せ付けない生活でありたいと思います。

どちらかと言えば、身体や気力が衰え、気弱になりがちなこれからの日々を、気持ちを持ち直して、できるだけ前向きに生きていく事が大切だと思います。

たった一回の人生を、充実した日だったと満足できる毎日でありたいと思います。

皆様には健康に十分に注意をされ、皆様の経験と知識技能を活かし、次代の人々と手を携えながら、明るく住みよい長寿社会の実現に向けて邁進しようではありませんか。

本年も暖かいご支援を賜りますよう祈念し、新年のごあいさつといたします。

「新春を迎えて」

明成小学校長 野村 祐治

新しい年の初めにあたり、皆様方にはご壮健にて新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、学校に対して何かと格別のご高配ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。お陰様で学校もすこぶる快調の内に新春を迎えることができました。

さて、明成小学校も開校以来、本年で3年を迎えます。過去2ケ年の実績をふまえ、いよいよ名実共に明成としての基盤を確立しなければならない年だと思います。幸い、本年待望の新校舎も、21世紀を見据えた近代的な施設と金沢らしさをマッチしたすばらしい校舎として竣工の運びとなります。ほんとうにうれしいことだと思います。

今後は、新しい校舎にふさわしい、新しい時代の創造を目指す学校として、内面の充実に真剣に取り組まねばと思います。そのためにも家庭、地域の皆様方との強い連携を望むものです。

皆様方の相変わらぬお力添えをお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



平成8年度の成人該当者は男子33名、女子29名、計62名が迎えられました。

1月15日(祝)午前10時30分式典開始で挙行されます。

該当者の方々には案内状が届きます。



成人式を迎えられた方々

町会名	氏名	町会名	氏名	町会名	氏名
母衣町	山下 怜奈	横安江町	今井 昭博	塩屋町上	鈴木 淳志
	井上 正英		卯野 景子		野口 千佳
	相浦 清貴		浅野 理恵		橋田 真司
南睦会	杉本 絵美		水野 勝幸		岡村 昌美
	益成 里奈		檜物 正和	塩屋町中	窪田 香織
北親会	山田 剛豪	堀川間ノ町	沖 あかね	塩屋町下	畠山真二郎
	中村 咲子		村本 貴信		渋谷久美子
彦三二番丁上	日下 悠子		森堀 健彦	岩根町西	佐部佐世子
	大倉 智穂	古餌指町	西田 晶		滝田 大
	本 武士		宮本千恵美		原 大昌
	山本 梨絵	象眼町上	直江 啓三		川 喜代志
彦三二番丁下	田村 信博		岡田 綾		法邑 賢一
	清水 正俊		勝尾亜希子	岩根町下一	藤村 貴夫
	辻 洋人	象眼町下	大友 重典		小西 美里
彦三五番丁下	松島より子	五宝町上	真田 兼吾		河上 和之
彦三六番丁	吉田 峰之		北 博信		南野 恵
	今井 夕希		山嶋 紗綾	あげば会	山本 泰広
彦三七番丁	吉村麻衣子	五宝町中二	山崎美栄子		宗広 聡
	田中 利明	五宝町下	一谷 我久	校下外	篠原 梢
	伊藤 裕幸		磯野 亜希		疋田 伸子
横安江町	新田有佳里	塩屋町上	柿本 昌彦		

「おめでとう」

平成8年秋の叙勲並びに全国社会福祉協議会(民生委員・児童委員)功労者表彰の受賞について
瓢箪地区民生委員協議会総務涌波秀博さん(笠市町10-2)は瓢箪地区民生委員として実に30年、家業の豊商工関係に従事50年の功績が認められ平成8年11月に「勲六等単光旭日章」を受賞されました。

また、同地区民生委員協議会副総務の能崎外喜知さん(笠市町7-15)は民生委員として25年の功績により、全国社会福祉協議会長から平成8年11月に「民生委員・児童委員功労者」として表彰されました。

心からお祝い申し上げますと共に、お二人の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

***** 頌 春 *****

町 会 連 合 会 長	今 井 義 明	民 生 委 員 (児 童) 総 務	涌 波 秀 博
文 化 会 館 長	"	防 犯 交 通 委 員 会 長	岡 崎 竹 雄
公 民 館 長	小 原 英 一	少 年 連 盟 育 成 委 員 長	吉 村 武 道
児 童 館 長	大 村 昭 男	街 頭 交 通 推 進 隊 長	三 上 正 道
社 会 福 祉 協 議 会 長	池 田 正 一	遺 族 会 長	盛 永 寛
婦 人 会 長	吉 田 尚 子	身 体 障 害 福 祉 協 議 会	沖 茂 男
老 人 憩 い の 家 室 長	田 中 良	東 部 鶴 亀 会 長	金 子 介 信
明 成 小 学 校 長	野 村 祐 治	南 部 鶴 亀 会 長	桧 物 喜 一 郎
消 防 分 団 長	宮 岸 敬 治	西 部 鶴 亀 会 長	笹 木 良 夫

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来 大友 功

10. 塩屋町

この地は藩政初期、米について大切な塩を売りさばく塩問屋があった所である。塩問屋は最初大手町（NHK前）辺りにあったが、寛永8年（1631）城下1千軒と金沢城を焼きつくしたと言われる「宝船寺焼け」の大火、同12年（1635）城下1万軒を焼く大火が相いっただ。この時、三代藩主利常は城下の防御の確保と現在の城下町金沢の原型を創り出したのである。

塩屋町も御坊町と同じく、寛永11年（1634）西方寺の移転した時期と前後に現在地に移転したものである。金沢古蹟志では、寛永13年（1636）に移転したと記している。

この地に移転した事は、揚場を控え海運の面から最適地であった。当時塩屋町は、揚場の近く回り（岩根下町）まで町域があったと思われる。また、塩は能登諸浦の製塩を塩問屋に運び入れ売りさばかれたため、この地名を塩屋町と呼ぶようになった。

藩政初期より塩は専売制をとってきたが、万治3年（1660）5月中止になり、寛文2年（1662）に復活したので、万治3年以前から専売制の元で町名が発生したものと思われる。

文化9年（1812）金沢町名帳には塩屋町辺りの軒数148軒、内町人133軒、武家奉公15軒あり、町人の内職人、商人が多くを占めている。その他変わった職業としては、狂言方役者が3軒ある。

安政元年（1854）から2年の頃の城下図では、瓢箪町14番は武家屋敷であり、15番と16番、20番辺りを清水町（江戸期～明治5年）と呼んでいたようである。

昭和5年、この地より出火し56戸全焼、28戸半焼した。

明治初年、清水町と下塩屋町を合併した戸数は172軒とあり、昭和40年塩屋町は、瓢箪町5、7、8番の一部、14番の一部、15、16、19番、18番の一部、20番、21、23、24番の一部に編入して町名は消滅した。

1 月 の 行 事 日 程

◎1月3日（金） 新年互礼会

文化会館2Fホール 午前11時

児童公園にてはしご登り披露 10時30分

◎1月11日（土） 新春かるた大会

児童館3F 午前9時30分

◎1月12日（日） 旗源平大会

文化会館2Fホール 午前10時

◎1月15日（祝） 成人式

スカイホテル18F

開式 10時30分

◎1月26日（日） 獅子舞初げいこ

文化会館2F 午前11時

◎2月2日（日） 麻雀大会

文化会館2F 詳細は別途回覧

1997年

2月号

No287



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

理想と希望の喜びの成人式

平成8年度成人式は1月15日スカイホテルにて開催されました。該当者65名・参加者男子19名、女子21名の出席でしたが、暖冬で女子の晴れ着姿の足元も良く晴れの門出にふさわしい成人式となりました。

小原英一公民館長の「世界の激動の中で成人を迎えられましたが、この状況を的確にとらえ日本の将来を立派に築いて欲しい」、今井義明連合町会長の「近所にいられるお年寄りに声を掛ける優しい心の持ち主に、選挙権をむだにせず是非政治に参画する事」と祝辞を頂き記念品の贈呈、成人者代表滝田大君の「誓いの言葉」、磯野亜希さんの「動議」を朗読し、厳粛な式典を終え続いて記念撮影のあと、祝賀パーティーと移り成人式を無事終える事が出来ました。

来賓の方々、お世話下さった役員の皆様大変おつかれさまでした。



館長あいさつ



成人代表「誓いの言葉」



力強い「動議宣言」



記念写真におさまる

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

11. 岩 根 町

藩政初期、馬術の名人と言われた岩根十蔵がこの地に浅野川馬場を開いたことから岩根馬場と呼ぶようになった。後に現在の馬場の地に関助馬場ができたので、この馬場跡地は地子地となり岩根馬場の地名は江戸時代を通じて呼ぶようになった。

岩根馬場は、岩根児童遊園地より川沿いの瓢箪町12番辺りであり、これが岩根町である。

明治5年に、堀川亀淵町(瓢箪町8の一部、9、10番辺り)と勘解由町(瓢箪町11、12の一部)と岩根町が合併し軒数60軒で岩根町が成立した。3町は、いずれも江戸中期に成立した町であった。

亀淵町は、江戸前期より舟着場や揚場などがあり、物資や人々の活発な動きのある地域であった。金沢古蹟志にこの町名の由来を「浅野川洪水の節、さる淵と成りたりし故、亀淵と稱し、其の名を後に町名と呼びたるならんか」とある。また山上町光覚寺由来書に「瑞龍公(利長)御代塩屋町亀淵に而寺屋敷拝領仕處」とあることから当時塩屋町地内であったと思われる。元禄3年の火災記にすでに亀淵町の町名が記載されている。

勘解由町の由来は、小橋詰の前田監物邸地に、以前、人持組森川勘解由の居邸があったことから勘解由殿町とも呼ばれた。

瓢箪町13、14、25番の一部に前田監物(3000石)の屋敷があって、小橋を門前としたため世人は、小橋の前田と呼んだ。(昭和40年瓢箪町に編入)

瓢箪町7、18番辺りに人持組永井舎人(1850石)の屋敷があり、岩根高場と呼ばれていた。

児童館カルタ大会&鏡びらき

お正月気分もぬけきらない1月11日、土曜休業の日に55名の子を迎え恒例のカルタ大会を開催しました。1・2年生はかがのとかるたに、3年生以上は百人一首に挑戦です。ルールも知らず、やってきた子もいましたが、初挑戦にしては数枚の札を手に納め、来年に期待をふくらませていたようでした。

成績は下記の通りです。

1年男子	1位	亀田 祥平(横安江町)
	2位	八幡 修平(笠市町)
	3位	越田こうじ(彦三7番丁)
1年女子	1位	藤田 理子(彦三2番丁上)
	2位	伊藤 千尋(彦三2番丁下)
	2位	竹内 亜季(彦三2番丁上)
2年生	1位	村井美香子(五宝町中)
	2位	栗本えりか(五宝町中1)
	3位	吉田 健剛(此花町)
3年生	1位	亀田 浩平(横安江町)
	2位	西川 紗世(彦三3番丁)
	3位	松下 悠希(母衣町)
4年・5年生の部	1位	大友真由美(巴町)
	2位	八幡 真弓(笠市町)
	3位	酒井 裕介(象眼町上)
6年男子	1位	大林 充典(笠市町)
	2位	能島 嵩之(塩屋町上)
	3位	広瀬 義隆(北新会)
6年女子	1位	高木 知佳(古餌指町)
	2位	不破 聖未(彦三7番丁)
	3位	西村 祐紀(荒町3丁目)

おめでとうございます。来年もがんばってね!

“小さな親切”表彰受ける

昨年の11月17日市中央児童館にて市少年連盟より次の人が表彰を受けられました。

小林 浩美	4年(塩屋中)
大友真由美	4年(巴町)
南谷 佳實	5年(彦三・2下)
大友 茂幹	5年(巴町)

遅ればせながらおめでとうございます。

2月行事日程

☆麻雀大会

2月2日(日)文化ホール2Fにて
午前10時ゲーム開始
個人でも参加出来ます
会費 1,500円

☆立志のつどい

2月16日(日)
会場 石川県国際交流センター4F
午前9時受付 (リファーマレビル)
午前9時30分より講演 正午終了
中学2年生の生徒、父兄多数の参加お待ちしております。

1997年

3月号

No.288



発行 瓢箪町公民館

金沢市彦三町2丁目10-5

TEL 21-1476 番

FAX 23-0715 番

編集 公民館広報部

瓢箪地区歴史探訪と町名の由来

大友 功

12. 瓢箪町

この地名は新しく、明治5年(1872)宗江寺町と崇禅寺門前の小路が合併し戸数32軒で成立している。

曹洞宗崇禅寺(明成小学校右横小路の別名天神様)は、江戸時代塩屋町地内であったと言われる。宗江寺町は現在の明成小学校の敷地内に入っており、江戸初期曹洞宗宗江寺と言う寺があった(慶長17年不破源六創建)が、万治3年(1660)小立野に替地を与えられ、宗竜寺と改称されて現在鶯町にある。それで宗江寺跡地を宗江寺町と呼ぶようになった。

亀の尾の記には、江戸中期は曠野であり、瓢箪畠があったと記されている。また「此地にも夜店の小家ありて、其價を安くせし故、貧しき少年どもここに遊ぶ。されば腰の軽き客なりとて、瓢箪客とあだなせしより転ずと、一笑すべし」とある。秀吉の千成瓢箪にあやかりたいものである。

昭和40年塩屋町、五宝町、岩根町、彦三1、5から7番丁の各町の1部が瓢箪町に編入した。

初めての試み 「立志のつどい」

瓢箪、此花地区生徒約50余名の参加、役員30余名の協力により2月16日午前9時30分より「立志のつどい」が開催されました。

本町リファレー4F国際交流センターの会場で、講師の金沢市スポーツ指導員・元全日本バレーボール選手の岩田稔氏の「バレーボールの人生」と題して講演をいただき、オーストラリア出身のレベッカ・スミスさんの「私の国と日本の国の生活習慣の違い」についてお聞きいたしました。

また、多数の保護者の参加もあり、生徒たちは、激励の言葉を胸に次代の社会をにない、自覚と誇を持ち、実践して行く事を誓いました。



お礼を述べる代表 諸江 美奈さん



講師 「岩田 稔氏」

獅子舞「初げいこ」

1月26日瓢箪町獅子舞保存会役員の見守る中、メンバー25名の児童により初げいこが行なわれました。

床の冷たさも忘れ木刀をもち、大人めがけて迫真の演技を披露していました。時折大きな笑い声が出、時には役員の大きな声で「カツ」を入れられ、いい汗をかいていました。演技の後、PTA会のお母さん達の手づくりのぜんざいが配られ、秋祭りに向けて成功させる事を目標に熱の入った初げいこを終えました。

マージャンで親ぼく

瓢箪町公民館主催のマージャン大会は、2月2日文化ホール2Fにて開催されました。

約30余名の参加により優勝を目ざし、2回戦トータルで順位を決め3回、4回戦はそれぞれつぶし合いと、参加者は終始和やかなムードで楽しんでいました。

1位 音頭 一正(彦三 7)

2位 村上 隆(塩屋 中)

3位 高桑 勝一(彦三、5上)



児童館「節分・豆まき」2月8日

今年は土曜休業にあわせ、立春をすぎても豆まきになりました。

遊びに来る子いわくまだ怒りんぼ鬼や意地悪鬼がいるというので40人がかりで豆をまきました。

鬼役の子供達が豆ならぬアメやチョコを投げられ、たくさん拾えると喜んでたのもつかのま、本物の鬼のように痛い痛い逃げ廻っていました。

これで児童館の春も迎えられそうです。

記 広瀬

お知らせ

明成小学校の新校舎完成。おめでとうございます。2月24日より新たな学び舎で授業が始まりました。

明成小学校は平成7年4月に瓢箪町小と此花町小が一緒になり開校、授業は旧此花町小の校舎を使用し、新校舎は同年6月より旧瓢箪町小跡地で建設に着工、今回新校舎完成となったものです。

3月行事日程

☆金石、大野方面 歴史探訪 3月6日

集合場所 瓢箪町公民館前

集合時間 AM 9:00 9:30出発
14:00解散

会 費 大人1,000円(昼食付き)

申し込み 会費をそえて公民館へ

TEL 21-1476

定員になり次第締切ります(25名)